

千葉県 沿岸重要水産資源 令和7年度資源評価

チョウセンハマグリ



- 外海に面した砂浜海岸に生息し、九十九里では貝けた網、鋤簾（じょれん）により、鴨川ではろくろ曳き（人力による貝けた網）により漁獲される。
- 1歳で殻長約1cm、2歳で3~4cm(7~16g)に成長し、3歳で5~6cm(31~54g)となり、寿命は10年以上で10cm(250g)を超えるものも漁獲される。
- 産卵期は6月下旬~9月。

資源評価

水準：高位	動向：横ばい
	➡

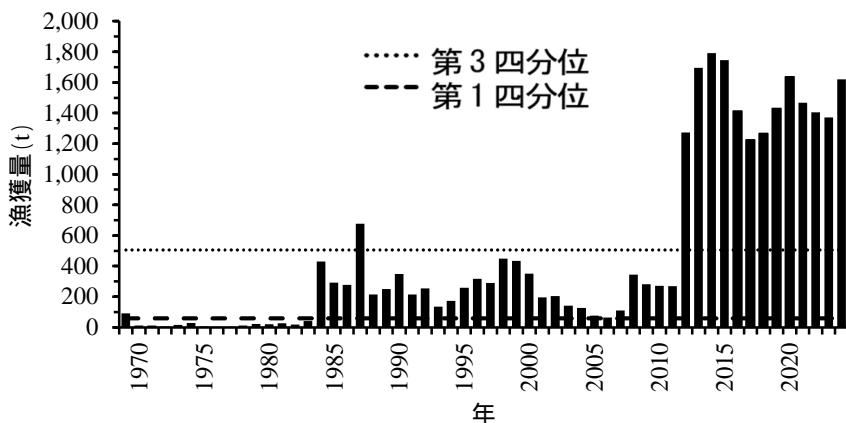
注) 資源水準は、原則過去20年以上の評価指標値（漁獲量）

から四分位数により評価した。

資源動向は、最近5年間の評価指標の近似式から年間5%以上の増減の有無により判断した。

資源評価の指標値

- 資源水準及び資源動向は、漁獲量の推移で判断した。
- 2024年の資源水準は高位、最近5年間の資源動向は横ばいとなった。



漁獲量の経年変化
(2006年まで千葉農林水産統計年報、2007年から千葉県調べ)

漁獲量

- 1969~1983年は低位で推移していたが、1984~2011年は70~660tで増減を繰り返し、2012年に急増して以降、1,000t以上の漁獲が続いている。
- 2012年は、2009年生まれの卓越年級群の加入により漁獲が急増したと考えられる。
- 2009年以降に生まれた年級群の漁獲への加入も継続している。
- 2024年は1,618t。

資源管理の取組

- 貝けた網漁業では共同操業による水揚げプール制、操業隻数・日数の制限、網目・漁獲サイズの制限、禁漁期・資源保護区域の設定、小型貝の沖出し放流など、漁業者が自主的な資源管理に取り組んでいる。

備考

- 県が毎年秋に実施している稚貝調査により、発生状況には非常に大きな年変動のあることがわかっている。